

(様式2)新規評価シート

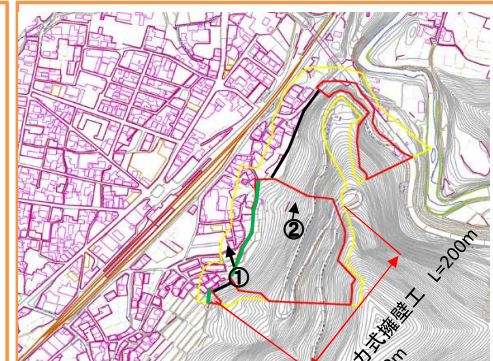
建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策事業		路河川名等	駅上					
事業毎の通番		4	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	駅上(えきうえ)				
事業概要	事業目的	当箇所は犀川右岸に位置し、勾配34.8°、がけ高さ145.5mの急斜面で、保全対象として人家34戸等が存在する。長大斜面があり不安定となっているうえに、風化による侵食も進んでいることから、更なる崩壊の危険性が高い。このため早急に対策を講じ民生の安定を図るものである。								
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	急傾斜地法					
	関連する事業、計画等									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家34戸 市道200m 林道570m								
	着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	6.5		国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	崩壊土砂防止柵工 L=200m			250,000	118,750	12,500	106,875	11,875		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	・特別警戒区域の解除								
	間接的効果(定量的・定性的)									
評価の視点	必要性	○人家戸数:34戸 ○公共施設:市道・林道 ○要配慮者利用施設:なし ○避難場所・避難路:なし						評価	B	
	重要性	○過去の災害履歴:なし ○交通遮断による地域経済への影響:大 ○地域防災計画上の位置付け:あり(安曇野市防災計画)						評価	B	
	効率性	○費用対効果(B/C):6.53 ○事業期間:5年間(H30～H34) ○工法検討:検討あり						評価	A	
	緊急性	○斜面の高さ:平均高さ59.6m ○被覆:不良 ○斜面平均勾配:38.2° ○保全対象の位置:がけ下:人家34戸、市道 がけ上:林道 ○地質:崩積土 ○斜面形状:遷急線あり						評価	A	
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に周知 ○地元要望:協力的である ○地域合意:合意形成がはかられている。						評価	A	
	部局意見	がけ高さ145.5mの長大斜面であるが、既存施設の中抜け区間となっており、地元から強い要望がある。住民の合意形成も図られており、事業の効率性及び緊急性が高い。						採択状況	○	総合評価
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。									

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)

(どこでどのような整備をする計画か。コメントや図形を駆使して一般民にわかりやすいものとする。レイアウト等自由に変更してください。)

位置図

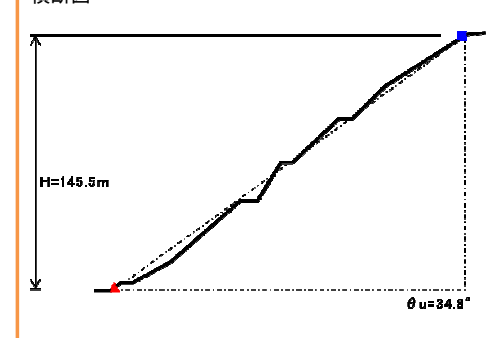


【整備の必要性がわかる状況写真等】

① 保全対象(人家)



横断面図



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	未対策がけ下に33戸の民家があり、うち2件は特別警戒区域内であることから、地元より対策要望を安曇野市へ受ける。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成28年度安曇野市より要望あり。	
③事業説明等の経緯	平成18年10月土砂災害防止法指定	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮についての検討の予定。	
⑥地域活性化への影響と配慮	地域住民は対策に関しての関心が高いため、避難体制の整備及び施設の維持管理について、今後地元説明会等で積極的な関与を促したい。	
⑦その他		
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 東経:E